


(福) 日本聴導犬協会 2021 年(令和3年)度 事業計画書

2021 (令和 3) 年 4 月 1 日～2022 (令和 4) 年 3 月 31 日まで

	2021年度 事業計画書
I	社会福祉事業 概要
	<p>日本で唯一、日本聴導犬協会は、海外からの聴導犬・介助犬の受入れができる団体です。日本聴導犬協会は、日本初で、現在唯一、ADI(国際アシスタンスドッグ協会)の認定試験に合格した団体です。そのことから、オリンピック&パラリンピックのために、海外から同伴される聴導犬・介助犬への『期間限定証明書』(Temporary Certification)の発行が実施できます。ちなみに、盲導犬については、2 団体(日本盲導犬協会、関西盲導犬協会)が請け負っています。</p> <p>※厚労省のHPでの説明:</p> <p>海外から渡航してくる補助犬使用者への対応ガイドライン 平 ... </p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/000417061.pdf</p> <p>★国際交流 ADAA「アシスタンス・ドッグ・アシスト・アソシエーション(補助犬支援団体)」</p> <p>・2021 年 2 月 国の施策として「海外からの観客の受け入れなし」と決定されたため、同伴される補助犬は選手の補助犬に限られることとなった。選手同行の補助犬の受け入れもありえるので、2021 年 成田空港での受入れシミュレーション実施予定</p> <p>※ 以下、2020 年に実施済み</p> <p>オリパラ時の海外からの補助犬」受入れ(TC)プロジェクト。以下実施済み</p> <p>(1) 受入れ説明の日本語&英文 WEB アップ済み</p> <p>(2) GE やアマゾンの有志の方と、受入れプロジェクトを創りました。</p> <p>※2018 年で以下実施済み。</p> <p>5 月 補助犬議連(衆議院会館)にて ADAA 説明</p> <p>8 月 ADAA ボランティア(宮田)養成講座</p> <p>8 月 ADI(ミネアポリス)にて TC 説明</p> <p>8 月 厚労省主催海外からの TC 説明会</p> <p>8 月 GE,Google など ADAA ボラ養成講座実施</p> <p>11 月 日本補助犬学会で TC 説明</p> <p>(3)成田空港での受入れシミュレーション</p> <p>2019 年 一度も受入れの練習できず。</p> <p>・2020 年 コロナ自粛で、一度も受入れの練習できず。</p> <p>(3) 受け入れマニュアル➡作成予定</p> <p>★2022 年に、4回目 ADI(国際アシスタンスドッグ協会)認定試験更新試験予定</p> <p>I. 聴導犬・介助犬事業</p> <p>(1)2021 年認定試験受験者予定は 6 チーム(2020 年度の予定者 3 チームと本年度 3 チーム。計 6 チーム予定) (※2019 年度:認定試験合格:3 チーム (含聴導犬 2 チーム。介助犬 1 チーム)。2018 年度:認定試験合格:3 チーム)</p> <p>(2)20 年度は、「コロナ自粛で希望者は減少」という予想に反して、「コロナによる孤立感や、他人</p>

に頼りにくい状況が生まれたこと」で、希望者が増加。加えて、スタッフが頻繁に SNS (Facebook やインスタなど) 情報を流すことで、訓練に関して具体的なイメージをもった希望者が集まっている。新規問合せは 10 名様。現在訓練に入っている希望者数は 6 名様。

(3) コロナ自粛により、さらに SNS の充実を図っていく。

※聴覚障がいおよび肢体障がい関連団体でのデモがゼロとなり、講演会場での希望者のリクルーティングが難しい。例年、200 回前後の講演会を実施し、全国 3カ所での「聴導犬・介助犬なんでも相談室」で、年間 70 名前後の問い合わせなどを受けていたが、2020 年度はリクルーティングの機会がほとんどゼロである。通常は、問合せのうちの 10～15%の希望者さんが訓練に入っている。

II. インターネット関連 実施

- (1) セールスフォースは継続的な顧客リストの整理中(事務方の 3 名が担当)。
- (2) 会員限定特別ページを開設したので、投稿数のアップなどにより、その充実を図ります。
- (3) 2021 年年末に、クラウドファンディングを立上げ予定。
※2020 年度の Good morning 日本聴導犬協会で聴導犬・介助犬育成費用 9,131,300 円のご支援を頂きました
- (4) 2020 年度は、初の試み Zoom などを使用しての講義実施(帝京科学大学。大阪エコ動植物海洋専門学校)外部との打ち合わせや、講義を実施できた)の結果、Zoom 講義などを強化していきたい。
- (5) youtube を使用しての活動やご支援を動画発信
<https://www.youtube.com/channel/UC9iQvXY5NAvr9kQNEKvDp5A/videos>
クラウドファンディング(2020 年 11 月 6 日～2021 年 1 月 22 日)でのご支援呼びかけの 1 つとして、監事の柴内裕子先生をはじめ、有馬との ZOOM 対談をいただきました。

■ YouTube「がんばれ！日本聴導犬協会 Zoom で応援対談シリーズ ■

- ①第 1 弾 ファンドライザー鎌倉幸子さん&有馬もと
「ask&thanks が大事。ask は『社会貢献へのお願い』と同じ」
- ②第 2 弾 兎東俊之東京音楽大学元学長&奥様で声楽家の直子様& 有馬もと
- ③第 3 弾 ノンフィクション作家山根一真先生『小惑星探査機はやぶさの大冒険』著者
- ④第 4 弾 料理評論家&元衆議院議員 藤野真紀子先生&有馬もと
「ご支援のよびかけができるのは、成熟した国だからこそ」
- ⑤第 5 弾 赤坂動物病院総院長 柴内裕子獣医師 CAPP (訪問犬) 活動の第 1 人者

III. 本部と事務所

(1) 東京支部(2018 年 2 月～)

・構成: 施設長: MAYUMI (社会福祉法人施設長資格取得)。訓練業務委託: T

- ① 2021 年度の利用件数: 約 140 回予定 (2020 年度 50 回。2019 年度 156 回)
 - ・70 回予定: ユーザー (2020 年度は 17 回)
 - ・10 回予定: 希望者面接 (2020 年度は 2 回)
 - ・11 回予定: パピークラス (2020 年度は 7 回)
 - ・15 回予定: 講演会など (2020 年 7 回)
 - ・30 回予定: 犬ケア (2020 年 17 回)

(2) 関西事務所: 支部候補地を探している。

・施設長: Y 様。訓練業務委託: O。

① 2021 年度の利用件数: 約 70 回予定 (20 年 9 回)

・20 回: ユーザー訓練・アフターケア (2020 年度 0)

・3 回: 希望者面接 (2020 年度 0)

・15 回: 講演会など (2020 年度 2 回)

・30 回: 犬ケア (2020 年度 年 7 回)

(※支部のための施設準備金として約 3000 万円を積み立てました。関西支部の契約ができるまでになっていたのに、途中で、契約が中断されました。この結果は、「塞翁が馬」だったと、感謝しております)

(3) 本部: ((福) 日本聴導犬協会「元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」)

・人員予定:

・訓練スタッフ 10 名予定 ← 現在 8 (含: 本部 4 名、東京 1 名、関西 1 名、愛知 1 名)

・学院生: 3 名 ← 現在 2 名

・犬ケア: 3 名 ← 現在 2 名

・事務スタッフ: 4 名 ← 現在 4 名

・施設整備: 2 名 ← 現在 1 名

① 利用件数: 365 日稼働のうち特別利用を約 200 回予定 ← 現在 72 回の特別利用
利用者数: 1500 名予定 ← 現在 772 人

・本部特別利用数は、110 回予定 ← 2020 年度 38 回:

(ユーザー及びユーザー候補者: 8 名の訓練およびアフターケア)

・10 名 ← 2020 年度 2 回: 希望者面接

・10 回 ← 2020 年度 11 回: パピークラス & Pro-Dog School

・40 回 ← 2020 年度 8 回: 講演会 & 相談室 & 聴導犬クラブ

・10 校 120 名 ← 2020 年度 5 回: 校 62 名: 職場体験 & 研修

・30 回 ← 2020 年度 14 回: 調査・研究

・20 件 ← 2020 年度 5 回: 取材

◆収支

一般寄付増額をめざして、SNS および Loppi、かざして募金、Canpan 募金決済、独自クラウドでの募金 (11 月～2022 年 1 月まで) を募る予定

(1) 収入: 2021 年度当初予算

総額: 約 5900 万円 ← 2020 年度 約 5460 万円

(内訳: 社会福祉事業: 約 5100 万円 ← 2020 年度 約 4800 万円。

公益事業 : 約 800 万円 ← 2020 年度 約 660 万円 含む 200 万円持続化給付金と
公益事業積立取崩 200 万円)

(2) 支出予算: 総額: 約 5800 万円

(支出予算 社会福祉法人事業 約 5000 万円 公益事業 800 万円)

	<p>◆候補犬・協会所属犬</p> <p>協会犬:常に40頭前後にしたい←20年度42頭(補助犬として移動予定の4頭含)</p> <p>(1)2021年度40頭前後(うち、新規候補犬10頭)予定</p> <p>(2)「聴導犬候補犬ネットワーク」を全国の動物愛護センターならびに保護団体と繁殖家から合計20カ所(新規:宮古島動物保護団体)。</p> <p>(3)新家族(補助犬にならない候補犬の里親)リストを作成予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規候補犬:10頭予定(2020年は7頭) <p>(4)繁殖:より良い候補犬繁殖は、英国聴導犬協会での研修を2019年の6月に実施済み。身体的&気質的にの良い子がいた場合に、繁殖を実施</p>
II	<p>公益事業(普及&研修など)</p> <p>(1)講演会予定:60回←20年度13回。大学&専門学校での講義予定:5回←20年度3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会&講義&研修など:150回←20年度94回。19年度291回 ・職場体験・研修:10校120名←20年度5校62名53日間。2019年度8校から延べ129人。89日間。 <p>(2)施設利用数:1500名←20年度779名。19年3066名</p> <p>※コロナで、講演会などが激減。謝金を主とする公益事業収入も激減した。持続化給付金の対象となり、20年度に200万円の補助を受けた。(※2018年度:デモ・講演会・研修受293回。施設利用者数2573名。2019年度のバスツアー:62件(2018年度38件。2017年度57件)</p> <p>(3)ご来所デモのための資料充実、魅力的なチャリティグッズの作成予定</p> <p>(4)学院:2019年度の研修生の中から、1名様が日本聴導犬・介助犬訓練士学院12期入学。スタッフに採用。</p>
III	<p>社会福祉事業:聴導犬・介助犬認定</p>
1	<p>認定試験実施:6チーム予定←含20年度受験予定者3チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅での試験(体調の変化が著しい介助犬希望の場合など)実施 ・兵庫県依頼で審査・認定試験を担当予定
2	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体からの認定試験→なし
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日本聴導犬協会の認定試験は年2回(5月か10月と2月)の2度試実施したい
IV	<p>社会福祉事業:候補犬の確保</p>
4	<p>「聴導犬候補犬ネットワーク」。全国20カ所(宮古島の動物保護団体が参加)。</p>
5	<p>繁殖計画 英国聴導犬協会に研修予定</p>
6	<p>新家族:3頭(あり太、カズ、ひとみ)</p>
7	<p>関係諸動物愛護団体との相互リンク→未定</p>
V	<p>社会福祉事業:聴導犬・介助犬のユーザーリクルーティング</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・各地の聴力情報センターでの広報活動協力をお願い⇒2021年度実施予定 ・「聴導犬・介助犬なんでも相談室」定例開催
9	<ul style="list-style-type: none"> ・未定
10	<p>V:『全日本聴導犬ユーザーの会』との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナでまったくなし。

11	VI: インターネットの活用
12	(1)現状:SNSでの展開:Facebookなどにスタッフ4名と学院生が参加しSNSを盛り上げています。 Facebook 日本聴導犬協会: 21696 いいね Facebook 有馬もと:トモダチ 1863 Facebook 日本聴導犬・介助犬訓練士学院: 2027 いいね Facebook 補助犬&補助犬候補犬&キャリアチェンジ犬の幸せ: 518 いいね Facebook:「補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)ユーザーの会」と応援団: 1023 メンバー Instagram hearingdogfordeaf: 211フォロワー Twitter(福)日本聴導犬協会: 1246フォロワー ・その他、週1回のLive発信を実施できず
VI	助成金・補助金(2020年度実績)
13	・育成のための行政からの委託事業、補助金はゼロでした。 ・宮田村 コロナ救済金 10万円 ・清水基金 180万円 ・持続化給付金 200万円 ・元気作り支援金 20万円 ・クラウドファンディング 9,131,300円 合計:13,231,300円
VII	教育への寄与
14	◆日本聴導犬・介助犬訓練士学院 ・2020年12期生:2名(4名中)入学→1名スタッフ採用 ・2021年13期生:3名(5名中)入学予定 (※19年度11期生3名入学→1名採用。・2019年夏集中8日間講座:聴講生(6名)→9名参加)
15	・職場体験&研修生受入れ:10校120名予定←20年度5校62名53日間。19年度は9校。129名。89日間。地元の学校4校および日本福祉大学、日本獣医生命科学大学、帝京科学大学と専門学校からの研修生の受入れ実施
VIII	公益事業:普及活動
16	I:講演会&講義 (1)講演会予定:60回←20年度13回。大学&専門学校での講義予定:5回←20年度3回 ・講演会&講義&研修など:150回←20年度94回。19年度291回 ・職場体験・研修:10校120名←20年度5校62名53日。2019年度8校から延べ129人。89日間 (2)施設利用数:1500名←20年度779名。19年3066名 ※コロナで、講演会などが激減。謝金を主とする公益事業収入も激減した。持続化給付金の対象となり、20年度に200万円の補助を受けた。(※2018年度:デモ・講演会・研修受293回。施設利用者数2573名。2019年度のバスツアー:62件(2018年度38件。2017年度57件) (3)ご来所デモのための資料充実、魅力的なチャリティグッズの作成予定 (4)学院:2019年度の研修生の中から、1名様が日本聴導犬・介助犬訓練士学院12期入学
IX	パブリシティ
17	I: SNSを活用した (1)資金調達:Goodmorning 日本聴導犬協会9,131,300円の支援と、339名の支援者リスト (2)物品支援の増加 (3)新規支援者の増加 (4)取材の増加につなげたい

	<p>II: 図書: 企画を出版社に持ち込む予定</p> <p>III: 動画配信を行う予定 youtube や Zoom などを利用して発信</p>
X	支部&事務所の運営
18	<p>I: 関西事務所: 支部候補地を探している。</p> <p>・施設長: Y 様。訓練業務委託: O。</p> <p>① 利用: 9 回</p> <p>・0回: ユーザー訓練・アフターケア</p> <p>・0回: 希望者面接</p> <p>・2回: 講演会など</p> <p>・7回: 犬ケア</p> <p>(※支部のための施設準備金として約3000万円を積み立てました。関西支部の契約ができるまでになっていたのに、途中で、契約が中断されたことが「塞翁が馬」だったと、感謝しております)</p>
19	<p>(1) 東京支部<2018年2月～></p> <p>・構成: 施設長: MAYUMI (社会福祉法人施設長資格取得)。訓練業務委託: T</p> <p>① 利用件数 51 回</p> <p>・17 回: ユーザーのアフターケア&訓練</p> <p>・2 回: 希望者面接</p> <p>・7回: パピークラス</p> <p>・6 回: 講演会など</p> <p>・17 回: 犬ケア</p> <p>(※役割1: オリパラ時の海外からの補助犬ユーザー受入れのための準備</p> <p>・役割2: 東京・関東地区希望者増加に対応</p> <p>・役割3: 支援者を増やすため八王子商店街・会長へのご協力をお願い</p> <p>・役割5: 関東方面の聴覚障害者団体への PR)</p> <p>(2) 候補犬の社会&訓練</p> <p>認定試験まぢかの聴導犬希望者の訓練および乗車訓練、飲食店訓練などを実施。毎月のパピークラスの実施時の拠点</p>